

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 7 月 29 日 更新

事務事業名		交通指導員設置事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	田代
	施 策	16	交通安全対策の推進				所属課	安全安心課	担当者名	下田 青空
	施策の柱	52	交通事故防止対策の推進				所属班	交通防犯対策班	(内線)	1242
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 3	事業連番 10041	根拠法令	道路交通法、交通指導員設置規則		
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 54 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市民の安全を確保し、交通事故の防止及び交通道德の高揚を図るため、市からの委嘱により交通指導員を設置。毎月1日、10日、20日の安全安心の日の街頭指導及び市主催行事等へ派遣する事業。現在の指導員数は20名。 交通指導員会議の開催。交通指導員研修会への参加。 市民の安全を確保し、交通事故の防止及び交通道德の高揚を図るため設置した。人口や車両の増加に伴い交通事故の危険性が高まっているため、指導員の必要性も大きくなっている現状がある。指導員の高齢化が進む等退任者が出てきており、その後の補充・後継者の確保が必要である。
【業務の流れ】	指導員の選出、委嘱状の交付、交通指導員研修会へ派遣、街頭指導等出勤依頼、費用弁償・報酬の支払
【主な予算費目】	報酬、旅費、需用費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 19名の交通指導員を委嘱し、市が設定している安全安心の日や、春・秋及び年末年始の全国交通安全運動期間中の通学路を中心とした街頭指導及び交通安全教室や市主催行事等での交通指導、交通指導員会議での指導員の資質の向上と実践活動に関する研修を実施し、交通安全意識の向上や交通事故防止に努めた。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 街頭指導や交通安全教室の講師の補助、市等が実施する交通安全啓発活動への参加を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
⇒ ア: 指導員の出勤行事数		令和6年度から10038交通安全啓発事業に統合することによる減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
⇒ 市民		⇒ ア: 市民 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
⇒ 交通事故に遭わないようにする		⇒ ア: 市民が第一当事者となった交通事故件数 件
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
交通指導員の街頭指導、啓発活動により、交通事故の未然防止につなげる。		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア 件		40	42	49	45	0	0	0	0	
	イ										
	イ										
② 対象指標	ア 人		63,841	64,453	65,500	64,787	0	0	0	0	
	イ										
	イ										
③ 成果指標	ア 件		130	105	150	116	0	0	0	0	
	イ										
	イ										
投 入 費 用	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	1,376	1,475	1,455	1,353				
	(A) 事業費計	千円	1,376	1,475	1,455	1,353	0	0	0	0	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
			千円								
	人 件 費	正規職員従事人数	人	4	4	4	3	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	500	630	500	420	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	1,955	2,397	1,992	1,529	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	3,331	3,872	3,447	2,882	0	0	0	0

事務事業名	交通指導員設置事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 先進地研修を含め、事業を予定どおり実施し、予算を適正に支出した。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 令和6年度より10038交通安全啓発事業に統合
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 指導員の研修等を行い、指導員の資質の向上を図ることで、街頭指導を通して交通事故発生を抑制できる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和6年度より10038交通安全啓発事業に統合
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 交通指導員の報酬は近隣町村とほぼ同額で削減余地はない。指導員の出勤手当も15回分打ち切りとしており、削減できない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 交通指導員事業運営のための業務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象とした交通指導、市内全域での街頭指導を行っており公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 交通安全は、市が主体的に取り組む必要がある。

3 評価結果の総括（CHECK）

目標は達成したが、今後も交通事故減少へ向け、指導員の知識・技術の向上と指導啓発の活性化を図る。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								